

新大学入試に関わる英語外部検定

高3生はいよいよセンター試験まで折り返し地点になりました。令和最初で最後のセンター試験です。新たに始まる大学入学共通テストでは、英語外部民間検定の結果を利用することが今のところ決まっています。高3生の中には、「浪人しなければ自分たちには関係ない」と考えている人がいるでしょうが、その考えは甘いです。受験では何が起ころか分かりません。絶対に浪人しない受験などというものは存在しません。そのため、万が一の事態に備えて、外部検定受験の流れを確認しておきましょう。また、高2以下の生徒たちも、しっかりと情報を集めておきましょう。新テストへの対応は大学ごとに異なります。国立大学であってもです。少なくとも、英検を利用する場合は「CBT」での受験が前提となりますので注意しましょう。漠然と怖がるのではなく、しっかりと情報を集めたうえで、正しく準備を行っていきましょう。〔野垣勝彦〕

7月・8月のおもなスケジュール		
7/23	火	1学期授業終了
24	水	夏期講習スタート
27・28		【授業なし・自習室開室】
8/3・4		【授業なし・自習室開室】
10	土	夏期学習イベント〔小4～中2〕 中3 絶対合格 36 合格①
11	日	中3 絶対合格 36 合格②
12	月	中3 絶対合格 36 合格③
13～18		【夏期休暇】
24・25		【授業なし・自習室開室】
28	水	【授業なし・自習室開室】
29	木	特進館アカデミー①
30	金	特進館アカデミー②
31	土	夏期公開テスト〔小4～中2〕

※中3生公開テストは、9/1に会場受験。

勉強すること

日本では団体競技でのチームワークが個の技量よりも重視されることが多々あります。リレー競技でのバトンパスが良い例です。この技量を高めるためには、チーム全員での練習が欠かせません。コミュニケーションをとりながら時間を共にして練度を上げます。

これ自体は良いことですが、なぜか勉強に対しても同じように取り組む人がいます。友だちと一緒に勉強する、というものです。

勉強とは自分で自分の弱点を克服する行為であり、友だちと一緒にやることで練度が上がるものではありません。じっくりと自分と向き合い、頭を働かせてこそ成果が出るものです。友だちと一緒に「勉強」している人は勉強していないということです。〔金子祐太〕



恒例の期末攻略深夜特訓。今回の参加者 84 名。深夜3時まで。無事に終了いたしました!!

6月の“自習王”決定!

- ★中学生の部
中3 和泉 綾花 85.8 時間
- ★高校生の部
高3 谷川 彰希 111.3 時間

夏休みの宿題

夏休みの宿題にすでに取り掛かっている人がいます。私自身、小学生の時などは夏休みが始まる前の方が宿題へのやる気があり、夏休みの中頃になると宿題の意欲が薄れ、ギリギリになって終わらせる…ということもありました。

そんなことにならないためにも、早いうちから取り組み宿題を終わらせましょう。〔後藤綾祐美〕

8月分 **7月**
学費の振替 **29日**
(月)

今月の振替分は8月分学費として、夏期講習費のご請求となります。受講曜日が各クラスで異なりますので、同封しております日程表にてご確認ください。

自らの命を自らで守る行動に!

「直ちに自らの命を自らで守る行動に出てください」。たいへん重々しい言葉ですが、近年の豪雨報道などで、このような言い回しを、時折耳にするようになりました。あの甚大な被害をもたらした「西日本豪雨」から丸1年が過ぎましたが、私たちは大雨の恐さをどれくらい認識できているのでしょうか?

大雨で、車が洪水で立ち往生しているシーンをニュースでよく見かけますよね。では、車は地面から何センチくらいまでの水深に耐えることができるのか?…ちょっと調べてみました。洪水・津波などで浸水した際の、水面から地面までの深さのことを「浸水深」といい、浸水深が大きくなると、車の走行に支障を来し、避難行動が困難になるそうです。

- 10cm まで…走行に関し、問題はない。
- 10cm 以上…ブレーキ性能が低下する。
- 30cm 以上…エンジンが停止する。
- 50cm 以上…パワーウィンドウ・スライドドアも作動せず、車が浮いて流される。〔日本自動車連盟「JAF」HPのデータより引用〕

つまり、わずか 10cm の水たまりでも危険であるということです。「備えあれば患いなし」。何事も命あつての物種です。日頃から、HPなどで「ハザードマップ」を確認、危険箇所を確認しておきましょう。〔北村昌弘〕



代表北村のお願い
特進館学院HP全面リニューアル完了!
パソコンはもちろん、スマホ・タブレットにも自動対応します。
tokushinkan.co.jp
ぜひご活用ください。

編集後記

近畿地方では例年になく遅い梅雨入り、九州では豪雨、関東・東北では日照不足と気候に関するニュースをよく耳にします。このあたりでも、7月にしては涼しいなあと感じる朝晩が多く、身体的にはありがたいのですが、「冷夏」という言葉を聞くと少々心配になります。関東地方ほどではありませんが、我が家のまわりでも野菜が大きくなり…という声があがっています。暑さは嫌いですが、やはり夏らしい最低限の日照と気温は欲しい!と勝手なことを考えながら、畑の野菜たちを眺めている今日このごろです。